

成果指標					
成果指標					0
指標設定の考え方					0
区分年度	24年度	25年度	26年度		
目 標	0	0	0		0
実 績	0	0	0		0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	選挙の関して基礎となるものであることから、常時から公職選挙法改正等、常に新しい情報を各委員が共通認識しておく必要がある。また、投票区の見直しや投票率アップに関する施策を常に議論する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	選挙管理委員会の運営については、行政上の専門知識を必要とする事務であり、常に自己研鑽に努めなければならない。効率性のみ追求することはできないが、25年度においては投票区の統合について検討も進め、26年度には該当地区の意見を取りまとめ、その結果により実施に移すこととしている。今後も、事務の正確性を高めながら、事務の簡素化・効率化に努めなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題